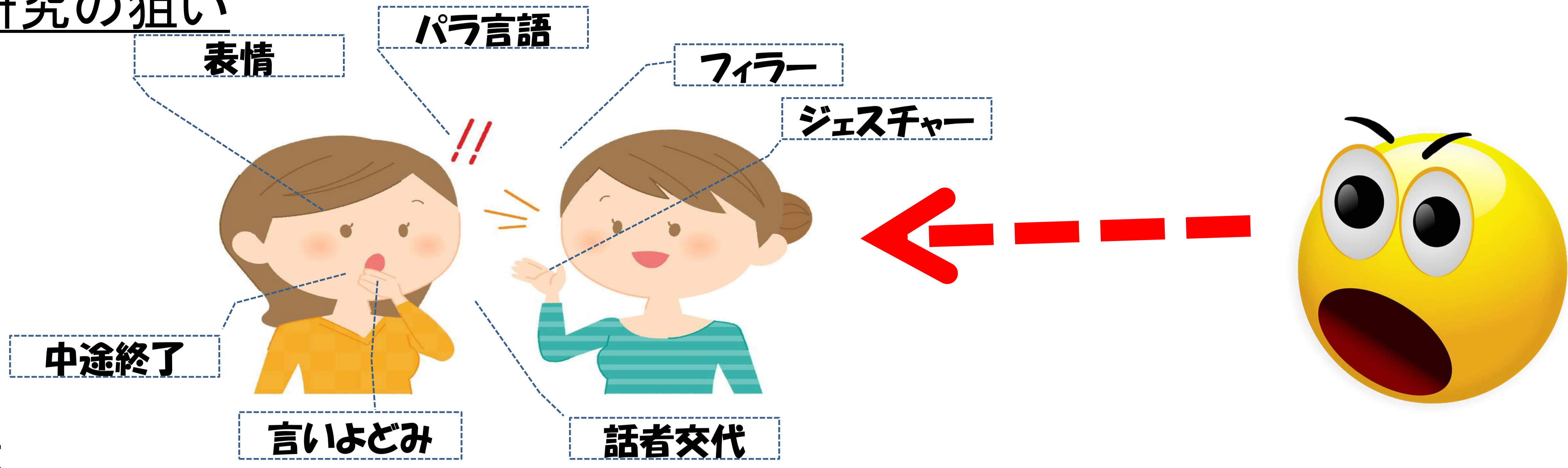


自然会話の特徴への気づきに効果的な提示方法の研究

—中上級とゼロ初級の各レベルの学習者の対比から—

関崎博紀(筑波大学)

1. 本研究の狙い



2. 方法

- 素材：親しい女性の大学生二者間による特定の話題を与えていない雑談の一部（1分48秒）
- 対象者のレベル：ゼロ（J1）（台2） ・ 中級（J6）（台1、韓1） ・ 上級（J8）（韓2）
- 提示方法：単純視聴・文字化資料(漢字かな/アルファベット)・注目指示(非言語・音声・文法・語彙・会話の仕組み)
- 気づきの収集方法：Think Aloud Protocol + 視聴中のメモ + 直後の半構造化インタビュー(日/英)

3. 結果

	非言語	語彙	文法	発音・パラ言語	背景・会話の仕組み	話題
上	<ul style="list-style-type: none"> リアクションが大きい(体を後ろに引く) 細長いジェスチャー リアクションが大きい 目を見開く 拍手で共感 腕組みをして説明 体を後ろに引く 聞き手と話し手で対照的 話し手の非言語行動が少 	<ul style="list-style-type: none"> 「後から後から」 会話の言葉 知らない単語(アンドーナツ、プチ) ★「あたし」→「なし」 「チップ」 「はまる」 「やばい」 「めっちゃ」 日常的な語彙 ★「はい」繰り返し共感 	<ul style="list-style-type: none"> 終助詞「ね」 ★終助詞「さ」 ★「ざるを得ない」会話でも 文法的に正しい 	<ul style="list-style-type: none"> 声大きい ×ケーキン ○ケーキ ×ランガルシャ ○ラングドシャ ×せんべつ ○せんべい ×好む ○頼む てしま→ちゃう じゃない→じゃん もの→もん 強調での長音化 ★イントネーションの上下が激しい 声の大きさの変化大きい 聞き取りやすい 文末が不明瞭 	<ul style="list-style-type: none"> ★「ね」が多いのは女性同士だから？ あいづちで話題展開 あいづちで話題継続 話が進むと話題深化 話題とどんどん変化、切れ目わかりにくい 話題変化が少ない 聞き手が会話を円滑にする 聞き手の質問や非言語行動で話題継続 積極的に話したがる人ではない(腕組み、質問を受けて話す) 話を聞くのが好きな人も(反応、応答が豊富) 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物 食べ物が好きそうな人 プチというお菓子 細長いラングドシャ 「プチにはまっちゃった」 「カロリーが高い」 「反動がすごい」 「味噌と醤油」 「アンドーナツ」 仲が良さそう 付き合い長そう 会話の場所は大学？ 前半と後半で話題が違う プチは種類が多い 日常的な話題 (太る、健康的)
中	<ul style="list-style-type: none"> 細長いジェスチャー ★避けたいジェスチャー ★「次から次」のジェスチャー ★顔に手をやって集中 楽しく話を聞いている(手、眉毛の動き) 腕組みをして説明 うなずき多い うなずいて共感 拍手で感嘆 	<ul style="list-style-type: none"> 長音(カロリー) 「めっちゃ」 「やばい」 「もの」→「やつ」 「はい」繰り返し共感 「はまる」 	<ul style="list-style-type: none"> と→って て形で発話終了 終助詞「ね」 ★終助詞「さ」 文末の「みたいな」 ★「ざるを得ない」会話でも 「だね？」で相手発話促進 フィルター ★倒置 ★主語だけの発話文 一文を複数文に分ける 	<ul style="list-style-type: none"> もの→もん ★(adj)くて→くって あれが→あれがー なんか→なか と言って→っつって ★本当→ほんと ★あんまり→あんま ★強調での長音化 あんまり→あんま てしま→ちゃう でしょ→っしょ じゃない→じゃん 声が小さくなる時も 話速が上がると発音も短く 聞き手は反応時に発音短く ★確認「ね」で上がる 強調でトーンを上げる 	<ul style="list-style-type: none"> 二人とも楽しく話す(あいづち) 聞き手による類似提示 聞き手による類似経験提示 聞き手による言い換えて話題展開 あいづちで話題展開 話者交代 	<ul style="list-style-type: none"> おやつ おいしいもの 「プチ」 「70円ぐらい」 「米と味噌」 プチは長い カロリー危険に同感 仕送への期待に理解 色の話
ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> 感情的な表情 強調のジェスチャー ★お菓子のジェスチャー ★口を覆っていた(to be polite?) ★腕組み(自信ない?) ★目を見開く 嬉しそう(笑顔、笑い) 頭に手を当てて考える 拍手で感嘆 関心表示(アイコンタクト、眉毛) 理解確認(手を振る) 	<ul style="list-style-type: none"> 応答詞(おお、はあ) 「すごい」 「おいしい」 「食べ・・・」 「ケーキ」 	<ul style="list-style-type: none"> ★文が長い ★終助詞「ね」 丁寧体ではない 文が短い 文が不完全 	<ul style="list-style-type: none"> 速い 早口 ★驚きや強調で話速が下がる ★リピートするとき上昇調に 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手によるサポート 話題開始者 交代での経験提示 聞き手からの反応(感情) 聞き手からのフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物 健康的な生活 勉強? (「先生」、「70点」)

4. 考察

- 初級：【単純視聴】話題理解志向 (cf. 既知語の利用) * 雑談での話題への理解促進に活用？
- 【文字化資料】気づき少ない (←既知の知識の少なさ) * 有効でない？
- 【注目指示】非言語行動への気づき+意味づけ、会話参加者の役割への気づき * 気づきの量と対象が最も豊富 * 非言語行動や会話の構造 * 分析的ではない
- 中上級：【単純視聴】話題理解志向 * 大まかな話題を先に提示しておけば話題以外への気づきが増えるか？ 文法 < 話題・会話の仕組み・非言語・語彙への気づき+意味づけ (中<上)
- 【文字化資料】聞き取った内容語の確認 (中<上) * 確認~気づきのための資料として有効？ 話し言葉での音変化への気づき (上<中) 文字化資料>注目指示 (←順序効果?)
- 【注目指示】多くの気づき+総合的意味づけ * 気づきの量と対象が最も豊富 * より分析的